



**漢方薬とは？**

**需要は？**

2

薬用作物産地支援協議会

## 漢方医学の流れ



- 「漢方医学」は、中国起源の医学を基に、日本で独自の発展を遂げた伝統医学。
- 中医学、韓医学は、起源は同じだが、異なった医学体系を形成している。
- 江戸中期に伝来したオランダ医学を「蘭方」と呼んだのに対して、従来の日本の伝統医学を「漢方」と呼ぶようになった。

3

薬用作物産地支援協議会

## 漢方薬の原料となる生薬

### 植物の花、葉、茎、根



### 樹木の樹皮、果皮



### 動物由来資源



### 鉱物由来資源



4

薬用作物産地支援協議会

## 漢方・生薬製剤の一例

### 医療用医薬品

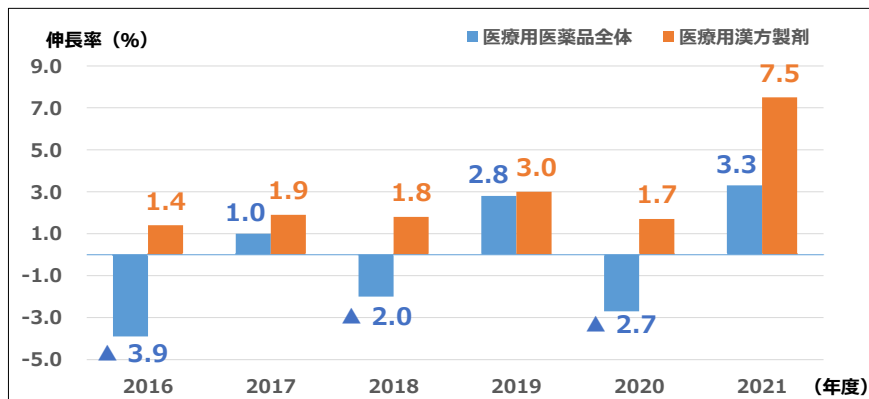
### OTC医薬品



5

薬用作物産地支援協議会

## 国内医療用医薬品市場と漢方市場の推移（売上ベース）

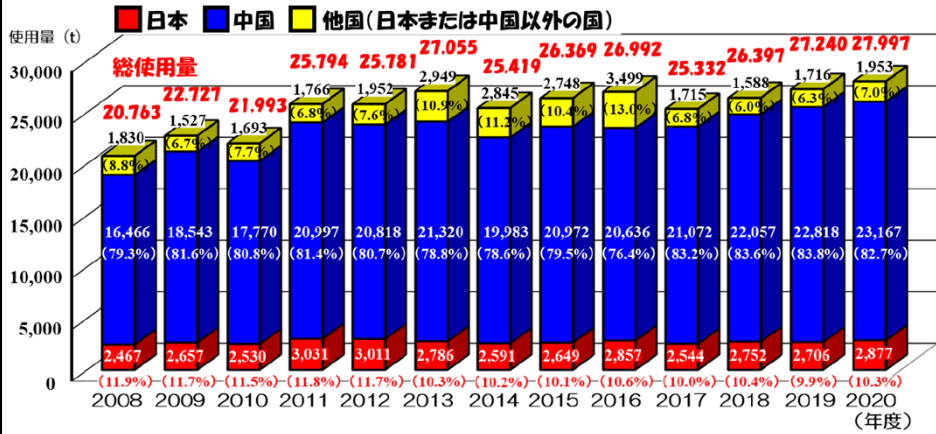


	2016	2017	2018	2019	2020	2021
市場規模 (億円)	104,308	105,393	103,293	106,294	103,476	106,887
漢方シェア(%)	1.4	1.4	1.5	1.5	1.6	1.6

Copyright © 2022 IQVIA. 「JPM 2015年4月～2022年3月」をもとに独自に集計 無断転載禁止 6

薬用作物産地支援協議会

## 原料生薬の使用量と生産国（2008-2020年度）



生薬学雑誌77(1),2023 (in press)/日漢協・生薬委員会 調査

7

薬用作物産地支援協議会

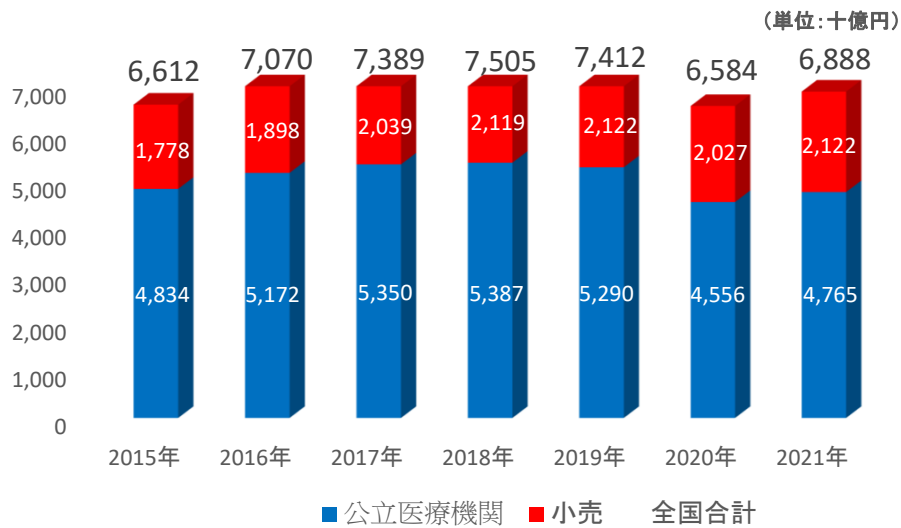
## 2018年度 国内使用量上位20品目

		(kg)			
		総使用量	日本	中国	他国
1	カンゾウ	1,758,931	0	1,708,600	50,331
2	シャクヤク	1,623,256	25,055	1,598,201	0
3	ブクリョウ	1,586,653	0	1,586,174	479
4	ケイヒ	1,176,074	0	1,053,203	122,871
5	ソウジュツ	1,005,560	0	1,005,560	0
6	コウイ	974,601	974,601	0	0
7	ハンゲ	928,539	0	928,539	0
8	タイソウ	883,102	0	883,102	0
9	トウキ	864,454	176,113	688,341	0
10	センナジュツ	802,488	0	0	802,488
11	ニンジン	746,550	1,407	744,971	173
12	マオウ	672,336	0	672,336	0
13	サイコ	608,377	18,870	588,485	1,022
14	センキュウ	580,611	442,089	138,522	0
15	カッコン	548,804	0	546,024	2,780
16	ヨクイニン	538,918	17	404,501	134,399
17	タクシャ	534,468	0	534,468	0
18	ビャクジュツ	427,841	0	427,841	0
19	ショウキョウ	426,289	27	426,262	0
20	ジオウ	419,863	2,724	416,949	190

8

薬用作物産地支援協議会

## 中成薬売上推移（2015-2021年）



参考：1人民元=19円

出典：広州標点医薬信息股份有限公司 9

薬用作物産地支援協議会

## 生薬の品質を安定化するために・・・ 品質規格について



### 厚生労働省 「日本薬局方」

生薬の基原種 性状（外部および内部形態・色・味・臭い） 確認試験 純度試験 乾燥減量 灰分  
酸不溶性灰分 エキス含量 成分など規定  
※5年に1度改正

+

### 「各社自社基準・規格」

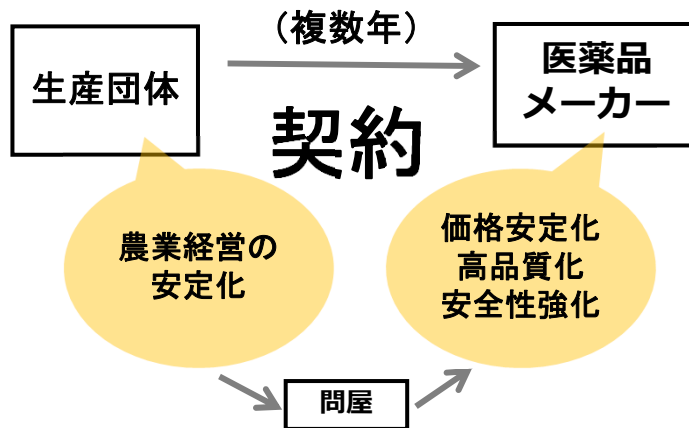
日本薬局方で規定していないその他の品質管理項目を含む、各社独自の品質規格  
★基原種の限定 ★管理指標成分 ★残留農薬 ★微生物 ★重金属 など

10

薬用作物産地支援協議会

## 日本における生薬流通について

- ・日本国内には市場がない
- ・生産者と医薬品メーカーとの間で複数年の契約を結ぶことが多い



11

薬用作物産地支援協議会

## 国内での薬用作物生産拡大の意義

医薬品メーカー：  
需要量の増加に対する原料調達リスクの軽減および国内自給率の向上  
これまでの生産者様と取引関係を維持継続

農林水産省：  
国内の耕作放棄地、中山間地の活用による日本の農業活動の活性化

厚生労働省：  
薬用作物・生薬調達先の複線化の推進による医薬品の安定供給



国内での薬用作物生産拡大継続は  
必要不可欠 <sup>12</sup>

薬用作物産地支援協議会

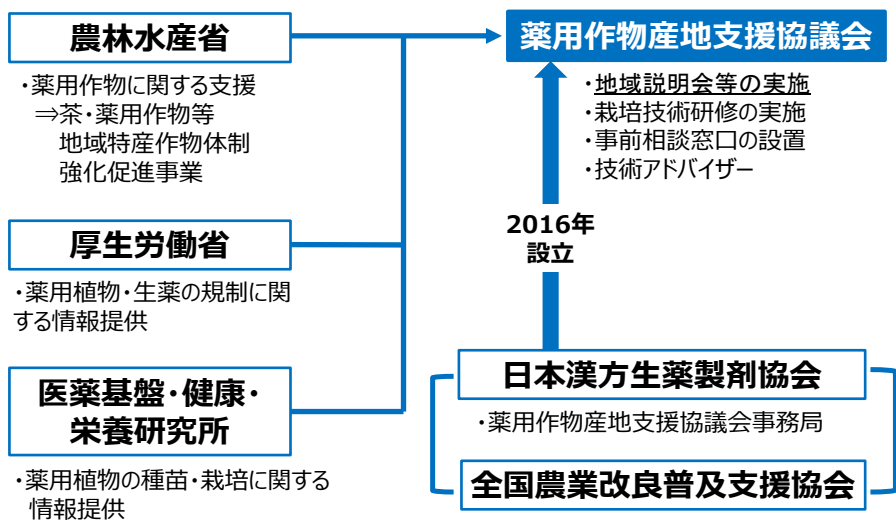
## 薬用作物生産拡大の取組経緯

	公的研究機関	行政		日漢協	普及協会
		厚労省	農水省		
2012		情報共有・意見交換			
2013	基盤研	ブロック会議			
2014					
2015					
2016	健栄研 健栄研 農研機構	医政局 経済課	農産局 果樹・茶 グループ	薬産協	
2017					
2018					
2019					
2020					
2021					

13

薬用作物産地支援協議会

## 茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業のスキーム



14

薬用作物産地支援協議会

## マッチング概況・国内の薬用作物調達量

### 9年間のマッチング概況

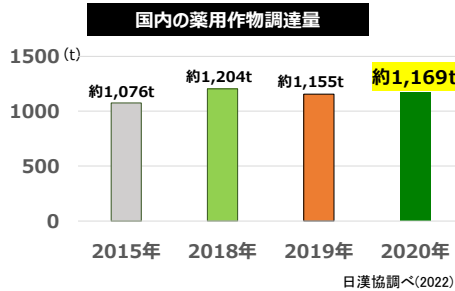
2022年3月31日時点 日漢協調べ(2022)

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計
折衝開始	45	36	15	12	8	1	2	5	0	124
折衝成立	19	11	5	1	4	1	2	0	0	43
取引成立	2	2	0	1	2	0	2	1	0	10
成立年	2015~ 2018~	2019~ 2019~	-	2017~	2018~ 2018~	-	2019~ 2019~	2021~	-	

↑ 「売ります」情報  
(生産者発信)

「買います」情報  
(実需者発信) →

年度	2020	2021	合計
折衝開始	2	11	13
折衝成立	1	5	6
取引成立	0	0	0
成立年	-	-	



※折衝開始 交渉開始した件数。  
 ※折衝成立 交渉が成立し、試作を開始した件数。  
 ※取引成立 医薬品メカと契約を締結した件数。  
 ※取引成立年 医薬品メカと契約を締結した年ごとの件数。

15

薬用作物産地支援協議会

## 折衝および取引の成立・不成立要因まとめ

要因	不成立	成立
価格	不採算(買取価格が安い) 支払い条件(早期の現金収入が必要)	中国産との価格差の少ない品目を選択
技術	技術不足 適切な栽培指導不足から 継続不能	小規模試作から開始 着実な成果をアピールして生産者を増やす
	栽培適地の選択ミス	各地の過去の栽培事例を重視
規格	生産してみたが、規格不適合となり損失 継続不能	小規模試作を実施し、品質を確認した後拡大
規模	個人では大規模対応不可	段階的にグループ化(拡大)を実施

16

薬用作物産地支援協議会



**生産拡大にあたり、**

**生産者様 / 生産団体様 に 留意いただきたいポイント**

1. 個人ではなく、グループで取り組む
2. グループリーダーの熱意は不可欠
3. 主品目ではなく輪作体系に取り込む
4. 地域行政、研究機関との連携を密に
5. 短期間ではなく長期的視点で計画

17

薬用作物産地支援協議会

**外部要因として生産拡大に必要な要素**

1. 経済性	2. 省力化	3. 社会的意義
①反収向上	①農薬登録	①生命基幹産業への貢献
②買取価格	②機械化	
③買取先拡充	③加工技術開発	

18

薬用作物産地支援協議会

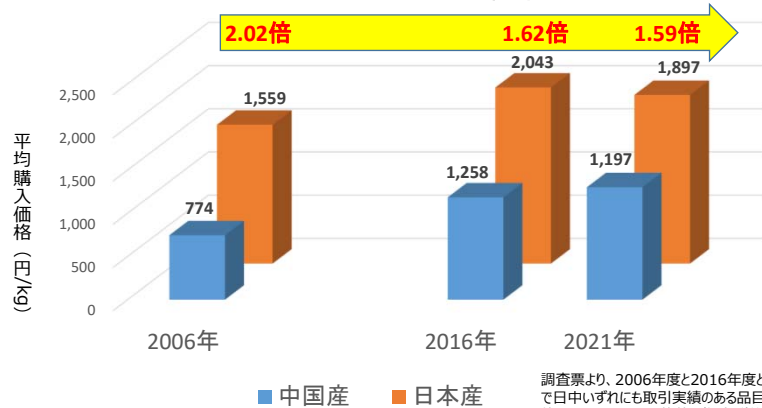
# 1.-①反収向上 2.-②機械化 / 2.-③加工技術開発に向けた取り組み

19  
薬用作物産地支援協議会

## 1.-②買取価格に関する取り組み

依然として価格優位性は中国産にあるものの、  
上昇速度の違いから、価格差は縮小傾向にある

中国産と日本産の生薬購入価格



2022年 日漢協 調査 20

薬用作物産地支援協議会

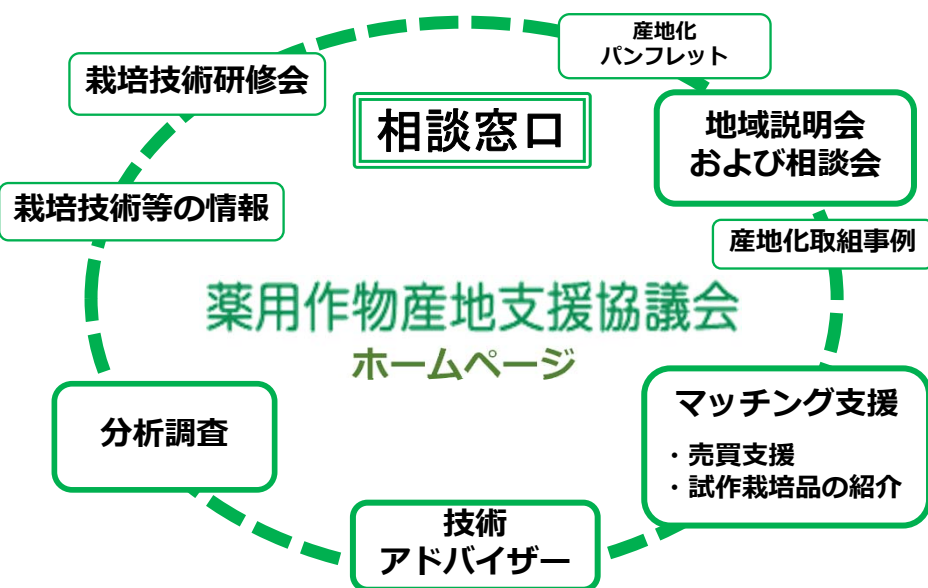
## その他の要素に関する取り組み

- 1.-③買取先拡充⇒化粧品・健康食品
- 2.-①農薬登録⇒医薬品メーカーと都道府県との連携  
⇒委託プロジェクトによる病害の解明
- 3.-①社会的意義⇒地域説明会での講演

21

薬用作物産地支援協議会

## 薬用作物に関する情報を集めたホームページ



22

薬用作物産地支援協議会

# 相談窓口

産地化を希望する生産者等からの相談・質問に対応する。  
お問い合わせフォームのほか、メール、電話、FAXにて対応可。

[お問い合わせ](#) | [よくあるご質問](#) | [アクセス](#)  
 相談窓口 ☎ 03-6264-8087  
[お問い合わせフォームをご利用ください](#)

[ホーム](#) | [組織概要](#) | [イベント情報](#) | [産地化事例](#) | [売買支援](#) | [技術アドバイザー](#) | [分析調査](#) | [調べる](#)

ホーム >> お問い合わせ

**生薬（薬用作物）の取り組み等に関するご相談**

お問い合わせフォーム

よくあるご質問

薬用作物関係機関 連絡先

E-mail又はFAXでも受け付けています  
☎ 03-6284-2534  
✉ soudan@yakusankyo-n.org

用紙のダウンロード

Excel形式 | PDF形式

現在、当協議会では新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、交代で在宅勤務（リモートワーク）を実施しています。  
お問い合わせにつきましても、可能な限り【お問い合わせフォーム】をご利用くださいますよう、お願いいたします。

生薬（薬用作物）の取り組み等に関するご相談は、お問い合わせフォームから必要事項を入力し、送信してください。  
・TEL (03-6264-8087) ・FAX (03-6284-2534)  
こちらからお問い合わせも受付しております。  
FAXの場合は、用紙をダウンロードの上お問い合わせ項目をご記入いただき、送信してください。

・お返事を差し上げるまでにお時間がかかる場合があります。  
・お問い合わせの内容によってはお答えできない場合もありますことをご了承下さい。  
・個人情報は日薬協プライバシーポリシーに従い適切に管理いたします。

現在、多数のお問い合わせを頂戴しております。  
ご相談には順次対応しておりますが、ご返信を差し上げるまでにお時間がかかる場合があります。何卒ご了承のほど、宜しくお願い申し上げます。

連絡先：薬用作物産地支援協議会 日薬協事務局  
担当 前田  
Tel : 03-6264-8087  
Email: soudan@yakusankyo-n.org

23

薬用作物産地支援協議会

# 産地化パンフレット

対象： 新規に薬用作物を取り組むことを検討している生産者。

内容： 薬用作物に取り組む上での、注意すべき点や情報収集の方法について一般的な流れを紹介する。

これから始める！  
**薬用作物の栽培ガイド**

1. 薬用作物に取り組むっていいの？  
2. 薬用作物と栽培する上で注意  
3. 新規で薬用作物を始めるSTEP  
4. 薬用作物のあるあるQ&A

**1 なぜ薬用作物に取り組むといいのか？**

薬用作物の産地化は、地域活性化の重要な役割を果たしています。...

**3 新規で薬用作物を始めるSTEP**

STEP 1 生産者として取り組む  
STEP 2 地産地消に取り組む  
STEP 3 産地化を進める

**4 薬用作物のあるある**

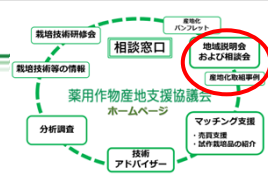
1. 産地化の目的  
2. 産地化のメリット  
3. 産地化のデメリット

24

薬用作物産地支援協議会

# 地域説明会および相談会

産地化を目指す地域(関係者)と実需者との情報の交換・共有を図るための説明会



令和4年度 薬用作物の産地化に向けた地域説明会および相談会

開催日程および開催場所等 (配布資料は当日公開します)

場 域 (開催地)	日 時	会 場	申し込み締切	申し込みフォーム
第1回 (オンライン開催)	2022年9月22日(木) 13:00~17:15	小室匠介事務所 11階 R10208 (東京都中央区京橋1-30-7 609丸善ビル6F) ・オンライン参加の登録要領が申込受付欄にて案内	9月12日(月)	会場申込 オンライン申込
第2回 (オンライン開催)	2022年10月15日(水) 13:00~17:15	郡山農工会事務所 6階 中ホール1A (福島県郡山市清水町1-3-6) ・オンライン参加の登録要領が申込受付欄にて案内	9月21日(水)	会場申込 オンライン申込
第3回 (オンライン開催)	2022年10月19日(水) 13:00~17:15	弘前情報ビル 112階 C会議室 (青森県弘前市大字南野町北1丁目17番地3) ・オンライン参加の登録要領が申込受付欄にて案内	10月15日(水)	会場申込 オンライン申込
第4回 (オンライン開催)	2022年11月10日(水) 13:00~17:15	東京農工大学コンベンションセンター 2階 会議室206 (東京都豊島区三軒茶屋1-13-1) ・オンライン参加の登録要領が申込受付欄にて案内	10月27日(水)	会場申込 オンライン申込

※個別相談は第1回~第4回の「会場申込」の場合のみ申し込み可能です。

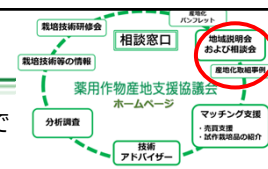
- 第1回
- ・薬用作物の産地化までの道のり【日本漢方生薬製剤協会】
  - ・薬用作物を対象とした補助事業等について【農林水産省】
  - ・漢方製剤の現状等について(薬価、医薬品原料、食薬区分等)【厚生労働省】
  - ・薬用植物総合情報データベースおよび種苗分譲について【国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター】
  - ・日本薬局方(局方)および日本薬局方外生薬規格(局外生規)について【国立医薬品食品衛生研究所】
  - ・漢方薬の治療実例の紹介
  - ・質疑応答
- 第2~4回
- ・各地の生産団体の取組紹介
  - ・質疑応答

25

薬用作物産地支援協議会

# 産地化取組事例

実際に産地化に成功している、または成功に向けて取り組んでいる生産団体の様子・経緯を事例紹介としてまとめている。



## 薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ よくあるご質問 アクセス  
相談窓口 ☎ 03-6264-8087  
お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム | 組織概要 | イベント情報 | 産地化事例 | マッチング支援 | 技術アドバイザー | 分析調査 | 調べる

ホーム >> 産地化事例

### 産地化取組事例紹介

過去の地域説明会におきまして、薬用作物の産地化に取り組まれている生産団体の事例を知りたい、との要望が多く寄せられました。平成30年度よりその声にお応えし、地域説明会におきまして各地域での産地化取組事例を紹介しております。その内容を掲載いたします。ぜひご参照ください。

#### 令和3年度 事例紹介

事例先	説明会 開催地	種別
農業+福祉 生業栽培/社会福祉法人はるにれの里 農業生産法人てみるファーム 【北海道】	北海道 (札幌市)	事例を見る
むらさき(紫根)の栽培/当別薬用植物栽培研究会 【北海道】	北海道 (札幌市)	事例を見る
藤王薬農園の取組み/藤王薬農園 【宮城県】	関東 (東京都)	事例を見る
生業の部を目指して 秋田県八峰町/八峰町農林振興課 【秋田県】	関東 (東京都)	事例を見る
あさぎり町における薬草栽培の取組/熊本県あさぎり町 【熊本県】	九州 (福岡県)	事例を見る
生業生産の取組と将来的展望/株式会社中村園 【福岡県】	九州 (福岡県)	事例を見る

26

薬用作物産地支援協議会

# マッチング支援

生産団体様と実需者（漢方薬メーカー）とのマッチングの場

## マッチング支援

生産団体様と実需者（漢方薬メーカー）との、マッチングの場としてご活用ください。

**売買取扱はこちら**  
(売ります情報・買います情報)

**試作栽培品の紹介はこちら**  
(生産者が発信する情報)

**売買取扱では次のような情報をご利用いただけます**

- 生産団体様が販売を希望する薬用作物の情報
- 実需者が購入を希望する薬用作物の情報

**試作栽培品の紹介では次のような情報をご利用いただけます**

- 生産団体様による試作栽培品（少量の生産物）の情報

※対象となる生産物は原則として、漢方・生薬製剤の原料になる、「日本薬局方」および「局外生薬規格」の収載品目に限ります。日本薬局方については**厚生労働省ホームページ**をご参照ください。局外生薬規格については**こちら**をご参照ください。また、日本国内で生産された薬用作物に限ります。

# マッチング支援：① 売買取扱

国内において薬用作物には市場が無い。そこで、医薬品メーカーと生産団体様との売買取扱を支援する。

**薬用作物産地支援協議会**

お問い合わせ | よくあるご質問 | アクセス  
相談窓口 ☎ 03-6264-8087  
お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム >> マッチング支援 >> 売買取扱

**売買取扱**

薬用作物は「市場」が存在せず、生産者と漢方薬メーカー（実需者）との間で「全量契約」する場合がございます。そのため本サイトでは実需者と生産団体様の売買取扱を行うことを目的とします。

**売買取扱の流れ**



情報を探す



フォームから連絡  
(事務局が仲介)



対面で交渉



マッチング成立

**令和4（2022）年度【売ります情報】登録受付を開始いたしました**

**【売ります情報】（生産物）登録申込フォームはこちら**

E-mail又はFAXでも受け付けています  
☎ 03-6284-2534  
✉ [soudan@yakusanryo-n.org](mailto:soudan@yakusanryo-n.org)  
📎 Excel形式 | 📎 PDF形式

**【売ります情報】**  
生産者が発信する情報はこちら  
・販売を希望する薬用作物  
【売ります情報】登録で希望の生産品を掲載はこちらから

**【買います情報】**  
実需者が発信する情報はこちら  
・購入を希望する薬用作物  
・新設生産地輸出を希望する品目と条件

## 売買支援（買います情報）

医薬品メーカー側の取引希望条件を掲載する。（生薬品目毎）  
合致する場合には、生産概況をフォームに記入し、お申込みを

薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ よくあるご質問 アクセス

相談窓口 ☎ 03-6264-8987

お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム | 組織概要 | イベント情報 | 産地化事例 | マッチング支援 | 技術アドバイザー | 分析調査 | 調べる

ホーム >> マッチング支援 >> 売買支援 >> 買います情報

戻る

### 買います情報

（実需者が発信する情報）



買います情報（1）  
【生産物の購入希望】はこちら

買います情報（2）  
【新規生産地づくり】はこちら

「買います情報」には、（実需者が購入を希望する薬用作物等の情報）を提示しています。

（1）（2）の区分は以下のとおりです。

買います情報（1）：薬用作物（生産物）の購入希望

買います情報（2）：これから新たに生産に取り組んでいたが、将来的に新規の生産地づくりを希望

### 買います情報（1）【生産物の購入希望】

生産品目	産地	評価
221040001	アホハコシロ	評価済
221040002	オウゴン	評価済
221000002	カニンシロ	評価済
221000001	ザンショウ	評価済
221000001	カニンシロ(産地)	評価済
221000003	オウゴン	評価済

### 買います情報（2）【新規生産地づくり】

生産品目	産地	評価
221040001	アホハコシロ	評価済
221000001	カニンシロ	評価済
221000002	カニンシロ	評価済

29

薬用作物産地支援協議会

## 売買支援（売ります情報）

生産団体様が販売を希望する生薬の情報を掲載。  
医薬品メーカー側は閲覧し、取引希望の場合には連絡を入れる。  
※生産団体様は、WEB上でもFAXでも情報登録のお申込みが可能。

薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ よくあるご質問 アクセス

相談窓口 ☎ 03-6264-8987

お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム | 組織概要 | イベント情報 | 産地化事例 | 売買支援 | 技術アドバイザー | 分析調査 | 調べる

ホーム >> マッチング支援 >> 売買支援 >> 売ります情報【生産物】一覧

戻る

### 売ります情報【生産物】一覧

（実需者向け情報）

#### ご利用の流れ（実需者向け）

- 購入を希望する産地情報から「取引を希望する」をクリックしてください。
- 入力フォームに必要事項を入力の上送信してください。
- 事務局では毎月2回（15日と末日）を締め日とし、応募を取りまとめます。  
○事務局から応募した実需者へ、当該産地の【生産者様の連絡先】をお知らせします。  
○事務局から生産者様へは、応募した【生産者の会社名】をお知らせし、2週間以内に連絡がある旨をご案内します。
- 実需者と生産者様とで直接交渉をおこなっていただきます。  
○交渉開始となった実需者には、毎年産末に進捗状況をご報告いたします。
- 交渉がまとまった場合、売買契約の成立となります。

#### 納入可能予定日が2023年3月まで（今年度中に納入可能）

登録番号	品目	納入可能予定日	評価
22_2022080223212	女貞子（トウネズミモチ）	2023年2月	評価済

ホーム | 組織概要 | イベント情報 | 産地化事例 | 売買支援 | 技術アドバイザー | 分析調査 | 調べる

戻る

### 売ります情報（生産物）登録申込フォーム

以下の項目にご記入いただき、送信ボタンをクリックください。

※必須項目（上より左から右まで）については、赤文字で表示させていただきます。（選択項目は、赤文字で表示）

団体名・代表者（必須）

郵便番号（必須）

ご住所（必須）

ご所属先 名称（必須）

ご担当 氏名（必須）

ご住所（必須）

所在地（必須）

所在地（必須）

FAX番号

メールアドレス（必須）

1. 所在地情報（郵便局番号等）

2. 住所（郵便局）

3. 電話番号・郵便局番号等

30

薬用作物産地支援協議会

## マッチング支援：② 試作栽培品の紹介

生産団体様が、試作栽培（生産物の乾燥重量50kg未満）の状況について紹介する場

### 薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ よくあるご質問 アクセス  
相談窓口 ☎ 03-6264-8087  
お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム | 組織概要 | イベント情報 | 産地化事例 | マッチング支援 | 技術アドバイザー | 分析調査 | 調べる

ホーム >> マッチング支援 >> 試作栽培品の紹介

#### 試作栽培品の紹介

(生産者が発信する情報)

生産団体様が試作栽培（生産物の乾燥重量50kg未満）の状況について紹介する場を設けました。

将来の産地創出を考えておられる実需者のご参考になれば幸いです。  
(乾燥重量50kg未満の場合、売買取引の対象にはならないため、「売ります情報」の対象外となります)

試作栽培品一覧はこちら

乾燥重量50kg未満の場合は「売ります情報」の対象外となるため、こちらの「試作栽培品の紹介」にお申し込みを

生産団体様は、WEB上でもFAXでも情報登録のお申し込みが可能

#### ご利用の流れ（生産者向け）

試作栽培など、生産物が少量の場合（乾燥重量50kg未満）、こちらの「試作栽培品の紹介」へお申し込みいただけます。  
(50kg未満の場合「売ります情報」では原則として受付できません)

このページの下部にある「[試作栽培品の紹介登録申し込みフォーム](#)」にて登録希望をお送りください。  
当協議会で審査後、ホームページに掲載いたします。

31

薬用作物産地支援協議会

## 技術アドバイザー

栽培や加工調製段階におけるお困りごとを解決するために専門技術指導者を現地圃に派遣し、アドバイスをを行う。基本的に無償。売り先（取引先）の紹介は不可。

### 薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ よくあるご質問 アクセス  
相談窓口 ☎ 03-6264-8087  
お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム | 組織概要 | イベント情報 | 産地化事例 | 売買支援 | 技術アドバイザー | 分析調査 | 調べる

ホーム >> 技術アドバイザー

#### 技術アドバイザー

本事業は、現在、医薬品の原料生産となる薬用作物の有増化に取り組まれている生産団体様に対して、薬用作物の専門技術指導者も派遣して、栽培や加工調製段階におけるお困りごとを解決するためにお手厚い（アドバイス）をさせていただきます。



#### 技術アドバイザー派遣申込フォーム

E-mail又はFAXでも受け付けています

☎ 03-6284-2534

✉ soudan@yokusankyo-n.org

📎 Excel形式 📄 PDF形式

#### 技術アドバイザー紹介

#### 注意事項

1. 売り先（医薬品メーカー等）の紹介は致しませんのでご了承ください。

2. 全ての派遣依頼に対して即時の対応は致しません。

32

薬用作物産地支援協議会



## 分析調査

生産者様においては、試作生産物が日本薬局方の要件をクリアしているかを確認することができる。

ご希望を全てお受けできる訳ではございません

対象品目：漢方・生薬製剤の原料となる、「日本薬局方収載品目」および「局外生薬規格」の範囲  
日本国内で生産された薬用作物に限ります

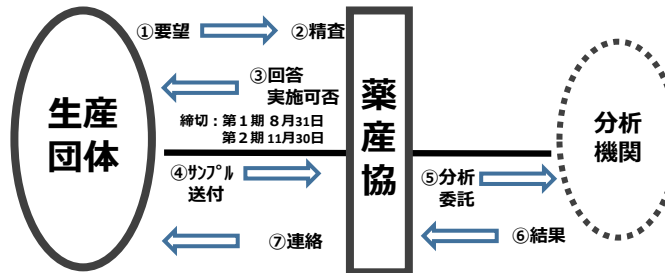
対象者：法人・農協の部会・農業者で組織する団体等 個人での応募は対象外

当協議会は、試作品がどのような生産物となるのかを調査し、今後の支援対策に活用いたします。

ホームページで応募受付中

令和4年度 第1期（8月末締切）は2件の応募あり・うち1件を現在分析中

**令和4年度 第2期は、11月30日締め切り！！**



33

薬用作物産地支援協議会

## 情報提供

## 情報提供

- ・活用できる国の支援策、収入保険制度等
- ・日本薬局方、食薬区分、薬価等
- ・薬用植物資源の確保、栽培技術の確立研究等

薬用作物産地支援

検索

34

薬用作物産地支援協議会

「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をコンセプトとした新しい資本主義を実現していくため、内閣に**今までの成長戦略会議から新たに「新しい資本主義実現本部」が設置**され、成長戦略フォローアップ およびフォローアップ工程表が閣議決定されました。

目次

フォローアップ	はじめに..... 1
	I. 新しい資本主義に向けた計画的な重点投資..... 1
	1. 人への投資と分配..... 1
	(1) 資金引上げの推進..... 1
	(2) スキルアップを通じた労働移動の円滑化..... 1
	(3) 貯蓄から投資のための「資産所得倍増プラン」の策定..... 4
	(4) 子供・現役世代・高齢者まで幅広い世代の活躍を応援..... 4
	(5) 多様性の尊重と選択の柔軟性..... 6
	(6) 人的資本等の非財務情報の株式市場への開示強化と指針整備..... 8
	2. 科学技術・イノベーションへの重点的投資..... 8
	(1) 量子技術..... 9
	(2) AI 実装..... 9
	(3) バイオものづくり..... 10
	(4) 再生・細胞医療・遺伝子治療等..... 10
	(5) 大学教育改革..... 15
	(6) 2025年大阪・関西万博..... 18
	III. 経済社会の多極集中化..... 34
	1. デジタル田園都市国家構想の推進..... 34
	(1) デジタル田園都市国家の実現に向けた基盤整備..... 34
	(2) デジタル田園都市国家を支える農林水産業、観光産業、教育の推進..... 40
	(3) デジタル田園都市国家構想の前提となる安心の確保..... 54

令和4年6月7日

関連事項  
掲載項目

関連事項  
掲載項目

I. 新しい資本主義に向けた計画的な重点投資  
2. 科学技術・イノベーションへの重点的投資  
(4) 再生・細胞医療・遺伝子治療等 (医療・医薬品)

- 漢方について、生薬の国内生産を支援するとともに、国内産業の競争力強化に資する国際標準化を進める。

III. 経済社会の多極集中化

1. デジタル田園都市国家構想の推進

(2) デジタル田園都市国家を支える農林水産業、観光産業、教育の推進

① 食料安全保障の確立に向けた、みどりの食料システム戦略など農林水産業の振興 (食品産業の生産性向上、新事業分野の開拓)

- 農林水産業・食品産業と医療・福祉が融合するオープンイノベーションを通じた介護食品や薬用作物、機能性食材の研究開発を支援する。また、2025年度までに薬用作物の国内での栽培面積を630haまで拡大するため、2022年度に国産ニーズの高い薬用作物の技術拠点農場を設置し、省力化技術の産地導入を支援する

# 漢方の将来ビジョン2040 日本漢方生薬製剤協会

## 漢方の将来ビジョン2040

- さらなるエビデンス集積と有用性の確立
- 原料生薬の継続的安定確保と国産生薬生産量の拡大
- 原料生薬から最終製剤までの品質管理の高度化と製品品質保証の体制強化および医療用漢方製剤等の安定供給
- ガイドライン策定に向けた医療用漢方製剤の新剤形開発・効能拡大に関する研究の推進
- 一般用漢方製剤および生薬製剤の開発推進と情報提供体制の強化
- コンプライアンス遵守の体制強化と信頼性向上
- 自然環境の保全・生薬資源の保護など地球環境や生物多様性へ配慮した事業活動の推進と漢方製剤等の国際展開の推進
- 産官学連携強化とアウトリーチ活動の充実

37

薬用作物産地支援協議会

ビジョン1		さらなるエビデンス集積と有用性の確立		原料生薬の必要量の確保に努めます	
2019年までの目標	2021年	2023年	2025年	2027年	2030年
<ul style="list-style-type: none"> <li>漢方製剤等の科学的有用性の確立と臨床エビデンスの集積により、医療ニーズの高い領域に適合する漢方製剤等の開発が、国産製剤であることが期待される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床エビデンスの集積                     <ul style="list-style-type: none"> <li>■薬の適正使用に関する研究</li> <li>■薬物の安全性に関する研究</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年度までのRO-ドマップ（ステップ1）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年度までのRO-ドマップ（ステップ2）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年度までのRO-ドマップ（ステップ3）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年度までのRO-ドマップ（ステップ4）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年までの目標</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2027年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年</li> </ul>

ビジョン2		原料生薬の継続的安定確保と国産生薬生産量の拡大		原料生薬の必要量の確保に努めます	
2019年までの目標	2021年	2023年	2025年	2027年	2030年
<ul style="list-style-type: none"> <li>原料生薬の安定供給と品質管理の高度化により、原料生薬の安定供給が期待されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原料生薬の安定供給                     <ul style="list-style-type: none"> <li>■原料生薬の安定供給</li> <li>■原料生薬の品質管理</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年度までのRO-ドマップ（ステップ1）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年度までのRO-ドマップ（ステップ2）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年度までのRO-ドマップ（ステップ3）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年度までのRO-ドマップ（ステップ4）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年までの目標</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2027年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2030年</li> </ul>

38

薬用作物産地支援協議会

ご清聴ありがとうございました

39

薬用作物産地支援協議会